

校長室だより

第10号

柏原市立堅下北中学校
校長 石田 智
令和5年2月1日(水)発行

○2年生 いのちの学習

12月の3年生に続き、2年生における「いのちの学習」が1月30日(月)の5、6時間目に体育館で行われました。テーマを「生命の尊さを学ぼう」とし、NPO法人なら思春期研究会より2名の助産師の方を講師にお招きしました。まず前半は助産師の仕事についてのお話から始まり、続いて生命誕生の過程を胎児の原寸大人形や心臓の音などを交え、丁寧に説明いただきました。休憩をはさんで後半は、2名の生徒が妊婦体験としてお腹に約10kgの重りをつけ、寝起きや洗面などをしました。何気ない日常の動作も妊婦の方には大変であることを実感したようでした。その後は、いよいよ出産に向けて、赤ちゃんがどのようにして生まれてくるのかを人形や図、写真を用いて説明いただき、最後には実際の出産シーンを映像で見せていただいて終了となりました。生徒たちは、自分たちがこの世に誕生するにあたって母親がどれだけ大変な思いをしてきたのかを知る貴重な機会となったと思います。お忙しい中、2時間にわたって講義して下さった助産師の方々に感謝いたします。



○小中合同ユニセフ募金活動

小中一貫教育として本校は堅下小学校と堅下北小学校と連携を密にし、年間を通してさまざまな取り組みを進めています。新型コロナウイルス感染症の影響で、2年間停止していた取り組みもありましたが、今年度はだんだんと再開できるようになってきました。そんな中、1月31日(火)に、本校の生徒会役員と堅下小学校、堅下北小学校の児童会役員による小中合同ユニセフ募金活動が行われました。寒空の中、朝8時より近鉄堅下駅と法善寺駅の前で、多くの児童・生徒が募金箱を持ち、通り行く人たちに懸命に募金を呼びかけました。通勤時の慌ただしい時間帯でしたが、応援の言葉をかけてくださる方などもあり、前日(1月30日)に「はなまる連絡帳」にて周知させていただいたため、多くの保護者と見受けられる方々も駆けつけ募金してくださいました。集まったお金はこの後とりまとめて、責任をもって日本ユニセフ協会に送金させていただきます。ご協力ありがとうございました。



○体育館に空調設備が設置

前回お伝えしましたとおり、現在体育館に空調設備を設置するための工事が行われていますが、1月末に概ねの作業が終わり、試験的に暖房を作動させることができるようになりました。先述の「いのちの学習」は体育館で行ったのですが、暖房のおかげで快適な環境の下、お話を聞かせていただくことができました。今後は電気代が高騰していることを鑑み、子どもたちの健康と教育上の必要性をよく検討していきながら使用していきたいと思っております。



○大阪私学高校等入試(2月10日、11日)

2月に入り、いよいよ大阪私学高校等の入試日が目前に迫ってまいりました。先日3年生の生徒から「本当にしんどいです」という声も聞いており、プレッシャーや焦り、緊張感など今がきっとひとつのピークになっていることだと思います。前回の集会の講話では「なぜ勉強するのか」ということについて触れ、自身の経験から、結局長い目で見れば自分のためになるという話をさせていただきました。受験は確かにしんどいですが、我々教職員を含め大人はみんな多かれ少なかれ経験してきているものだと思います。保護者の皆様方には、子どもたちのしんどさを受け止めながら、ご自身がどのようにして受験に向き合ってこられたのかをお話いただき、励ましていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



【校舎の3年生フロアは今、受験を応援する掲示で一杯になっています】

※学校の日々の様子はホームページに適宜アップしております。是非ご覧ください。
堅下北中学校ホームページ・アドレス www.katashimokita-j.city.kashiwara.osaka

堅下北中学校

